



キナシ大林病院

地域連携室だより

2020年
7月号

酷暑の候、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「地域連携室だより」を作成いたしましたので、ご覧いただけましたら幸いです。

キナシ大林病院 地域連携室

〒761-8024

香川県高松市鬼無町藤井 435-1

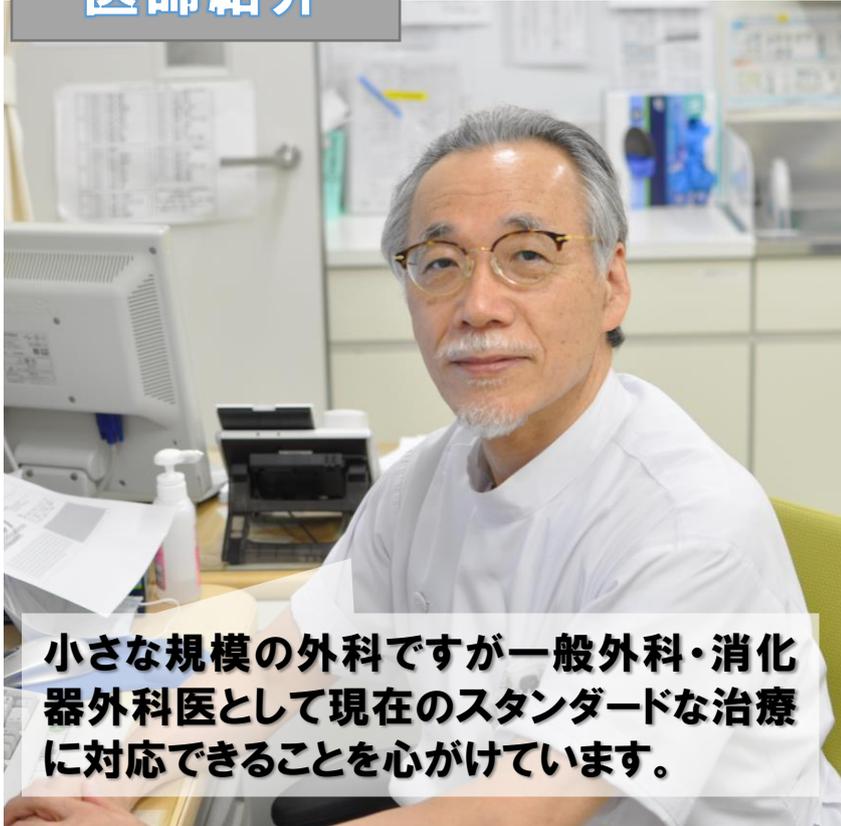
地域連携用 TEL 087-881-3676

医療相談用 TEL 087-802-6668

直通 FAX 087-882-3539



医師紹介



小さな規模の外科ですが一般外科・消化器外科医として現在のスタンダードな治療に対応できることを心がけています。

大学病院の外科に直結；

香川大学消化器外科と協力し年間 90 件程度の手術を行っています。また呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科の教授・准教授も専門外来を開設しています。

お役に立てる外科；

ちょっとしたことから重症まで、診断から治療、ターミナルまで、微力ですが当院の機動力を生かして地域医療の中で働いております。今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

副院長

美濃睦水 (ミノムツミ)

専門分野

外科

認定資格

- ・日本外科学会専門医
- ・日本消化器外科学会認定医

略歴

1985 年愛媛大医学部卒。香川医大（現香川大）附属病院、八重垣病院（兵庫県）を経て、1995 年から当院勤務。2000 年から外科部長、2007 年から現職。



連携実績

	紹介率	逆紹介率	紹介入院数		退院支援の状況				
			クリニック様からの紹介	病院様からの紹介	介護支援等連携指導料算定数	退院時共同指導料算定数	退院支援加算Ⅱ算定数	MSW介入患者数	退院患者数
R2/4	41.9%	34.0%	11	28	3	3	7	64	139
R2/5	32.3%	39.5%	18	19	9	3	8	66	125
R2/6	47.7%	35.7%	17	28	11	3	11	70	147

4 月、5 月は新型コロナウイルスの影響で外来患者数、入院患者数も減少していました。紹介状なしの初診算定患者が少なく結果として紹介率が上がっています。退院支援に関してもご家族や事業所さんの面会制限が続く中での連携方法を試行錯誤する期間でした。

新型コロナウイルスと地域連携

4/12（日）に近隣の保育所で新型コロナウイルス患者のクラスターが発生したという報道がありました。それまでは東京や大阪などの感染者数が発表されても対岸の火事という感覚でしたが、翌日の職場では火の粉が降りかかるぐらいの距離感となりました。院内で感染患者が発生するのは時間の問題という雰囲気の中で、地域連携室では「密に連携をする必要があるが、社会的距離を保たなければいけない」というジレンマを抱えることになりました。

退院後に施設入所する場合や新たに介護サービスを利用し始める場合は、患者さんと退院後の介護を担う担当者が直接会うことは、お互いの安心感を高め、居場所が変わるショックを軽減するために、とても重要と考えます。ビデオ通話などを利用してできるだけそれに近い環境を提供できるよう努めています。逆に直接会う必要がない場合には、担当者が仲介するなど直接会わないよう心がけています。原稿作成時点で油断できない状況が続いています。今後の連携においては、リモート環境が必須であると考え準備していきます。



地連リモートグッズ

第5回 地域ケア懇談会のご案内

延期していた地域ケア懇談会をWEB会議形式で再開します。「新型コロナ下の地域連携」のあり方がテーマです。これまで顔の見える関係を目指して、できる限り「直接」「一堂に会する」連携を行ってきましたが、感染対策を踏まえたうえで効果的な連携を行うためにはどうすべきか、皆さんと相談できればと考えています。

日時	令和2年9月24日（木） 18時30分～20時00分
場所	WEB会議形式にて実施（zoom使用予定）
申込方法	キナシ大林病院のホームページに申し込み用のフォームへのリンクを設置しますので、必要事項を記入ください。
締切	9月5日までをお願いします。

部署紹介（6階病棟）

6階病棟は、美濃副院長を病棟医長に、外科・内科・泌尿器科・眼科を取り扱う混合病棟です。各科の手術やたくさんの医師がかかわるため大変忙しい病棟です。

全スタッフが同じレベルに成長し、患者様のニーズにあった看護が提供できるように頑張っています。



地域連携担当者より

藤澤孝雄（7F病棟・退院支援部門/社会福祉士）



昔からゲームが好きだったり、中学時代は放送部だったり、インドな男でした。さらに大学に入り親のすねをかじってパソコンを購入してもらってからパソコンいじりにはまり、その扱いを覚えてきました。当時はただのオタクだったのですが、ウィズコロナの中、「ひょっとしたら私の時代がきたんじゃないか」と思いながらやっております。

林幸代（地域連携・退院支援部門/看護師）



7月に入って香川でも3か月ぶりに新型コロナの感染者が出て、当院でも少し緩んだ制限がまた元通り厳しくなっていました。これからは、今まで通りにというのは難しい状況です。ITは苦手ですが、withコロナの新しい連携方法などに、私自身もついていけるようがんばります。

桑原朝美

（6F病棟担当予定/看護師）



8月17日より地域連携室に配属となります。田尾さんから引き継いで6階病棟の患者さんの退院支援などにあたらせてもらいます。

初めての仕事でご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導ください。よろしくお祈りいたします。

田尾沙絵（6F病棟/社会福祉士）



平素よりお世話になっております。感染症対策が強化されている中でこそ、先生方・ケアマネジャー・施設・関係機関との連携を密に図り、患者様へは地域の情報をお伝えし、安心して治療を受けられるよう、そして退院できるようつなげていけるよう努力します。

もうすぐ産休・育休に入ります。

稲毛ももこ（5F病棟/ソーシャルワーカー）



新型コロナウイルスの影響で、面会やカンファレンス等の制限がかかり、ご迷惑をおかけしておりますが、ご協力をいただき本当にたすかっております。患者様の状態が把握できるよう動画やビデオ通話等の手法を地域連携室で考えております。大変な時期ですが、一緒に患者様のことを考え、乗り越えていけたらと思っております。よろしくお祈りいたします。